

2024年4月月次祭 大教会長挨拶

本日は、春らしい穏やかなお日柄をいただいて、皆さんにはそれぞれお忙しい中を、遠近を問わず4月の月次祭にご参拝をいただきまして、誠に有難うございました。また、日々は教祖140年祭に向かってご丹精を下さり、重ねて有難うございます。

今年も4月の半ばを過ぎまして、4月と言えば新年度・新学期であります。うちの子ども達もこの春に、お陰様で娘が六年生・息子が五年生に、それぞれと進級をさせていただきました。二人の子ども達も今は少し反抗期で、私達夫婦を困らせる時もありますが、この反抗期も成長の証しと感じております。そして、この成長の裏側には親神様・教祖のお導きと、たくさんの人達のお世話どりのお蔭の上に結構にあるのだと、改めて有難く思っております。今後も子ども達の成長を楽しみにして、子育てに頑張っていきたいと思っております。

さて、祭文でも申し上げましたように、今月月末の29日には、恒例の「全教一斉ひのきしんデー」が実施されます。昨年のひのきしんデーは、コロナウイルスがまだ感染症の五類となる前でしたので、実施できなかった地域もありました。しかし、昨年の5月以降から、ようやくさまざまな規制も緩和されてきましたので、活動しやすくなってきました。ですので、この機会に身近な人に声を掛けてもらって、多くの人に家族ぐるみで参加をしていただきたいと思います。「よくをわすれてひのきしんこれがだいいちこえとなる」と、お教えいただく上から、ひのきしんデー当日には、日頃お借りしている身体に感謝をしながら喜び一杯につとめて、陽気ぐらしの心の肥やしにさせていただきたいと思っております。

先日私が使っている車に不具合がありましたので、近く的車屋さんに見てもらいに行きました。そして、車を見てもらっている間お店で待たせていただいていると、机の上に掲示されている一枚のチラシに目がいきました。そのチラシと

は、「ペップトーク」という講演会のお知らせのチラシでした。聞いたことのない言葉でしたので興味が湧きまして、大教会に帰って早速調べてみると、「ペップトーク」とは、アメリカでスポーツの試合前に、監督やリーダーが選手達に、魂を揺さぶるスピーチをすることだとありました。ペップは元気や活気を表す英語で、ペップトークの特徴は、短くてわかりやすく肯定的な言葉を使った、人をその気にさせるスピーチだそうです。

そこで、ペップトークをする時の大事なポイントというのは、・状況を把握すること・目的目標を明確にすること・短くてわかりやすく簡潔にすること・ポジティブな表現を使うこと・キーワードを含めることとありました。その中でもキーワードが特に大事だということで、チームメイトにどういうふうに頑張ってもらいたいのかを理解した上で、例えば本気という言葉を使っている話し方の例ですが・・・

試合前の選手達に、「みんな緊張しているね。でもそれは、みんなが本気の証拠だよ。今日まで練習してきた力を、全部出し切りたいと本気で思っている証拠だよ。だから、自分達の本気を信じて頑張ろうよ。」というように、本気という言葉が三回使っていることが、効果的なキーワードだそうです。そして、監督やコーチやキャプテンの心を込めた言葉や話が、相手にも自分にも本気であれば、お互いの頭の中に共通のイメージができ、それが理論背景となって、ペップトークが広がったとのことでした。

この度、はじめて聞くペップトークということに、言葉の重さと大切さを改めて学ばせてもらい、そして、併せて信仰生活にも大きくつながることだと感じました。私達は毎日の暮らしの中で、家族をはじめまわりの人達と接する時に、さまざまな言葉を使って会話をさせていただきます。そんな時相手に優しい言葉や励ましの言葉を掛ける時があれば、反対について感情的になってきつい言葉を出してしまい、相手に嫌な思いをさせてしまうことが、誰しもあるかと思えます。私自身もそうなんですけど、外の他人にはいい顔をして、穏やかな言葉を掛けて接し

ておりますが、反対に家内や子どもや青年さん達の内々には甘えてしまって、時には厳しい言葉を使ってしまい、後で後悔してしまうことがあります。

私達お互いは、日々陽気ぐらしをさせていただくお互いであります。陽気ぐらしは互い立てあいたすけあいとありますので、相手の気持ちを尊重をして、互いに立てあうことが大切です。自分が相手を立てさせてもらうことにより、相手が自分を立ててくれるようになるのが、天の理だと思えます。そして、そのようになる為には、私達が相手に掛ける言葉一つ心一つにあると思えます。おさしづに、

皆んな勇ましてこそ、真の陽気という。めんめん楽しんで、後々の者苦しまずようでは、ほんとの陽気とは言えん。(M30・12・11)と、このようにありますので、ですから、お互いに勇ませあえる優しい言葉を掛け合い、それを日々の陽気ぐらしの種にして、年祭活動の歩みへとつながせていただきたいと思えます。

最後に来月の月次祭には、諸井世話人先生のご巡教をいただきます。そして、翌日には講師の先生をお招きして、教会長夫妻おたすけ推進の集いを、開催させていただくことになっています。この機会に大教会より帰参車両を出しますので、一人でも多くの方にご参拝下さいますことをお願い申し上げます。本日の挨拶とさせていただきます。有難うございました。